

福井県後期高齢者医療広域連合告示第18号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、令和4年4月1日から令和4年9月30日までの財政状況及び令和3年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

令和4年12月19日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 令和4年度一般会計（令和4年9月30日現在）

【歳入】 (単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	476,347,000	238,192,000	50.0
2 国庫支出金	286,000	0	0
4 繰越金	1,000	32,879,959	3,287,995.9
5 諸収入	90,000	200	0.2
合計	476,724,000	271,072,159	56.9

【歳出】 (単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,483,000	44,840	3.0
2 総務費	159,496,000	69,741,748	43.7
3 民生費	313,744,000	0	0
4 諸支出金	1,000	0	0
5 予備費	2,000,000	0	0
合計	476,724,000	69,786,588	14.6

(2) 令和4年度後期高齢者医療特別会計（令和4年9月30日現在）

【歳入】

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	19,995,003,000	7,475,401,652	37.4
2 国庫支出金	35,030,651,000	20,787,531,000	59.3
3 県支出金	9,085,829,000	5,400,000,000	59.4
4 支払基金交付金	42,600,116,000	18,115,844,000	42.5
5 特別高額医療費共同事業交付金	43,518,000	0	0
6 財産収入	50,000	0	0
8 繰入金	602,657,000	268,913,000	44.6
9 繰越金	1,000	2,779,536,225	277,953,622.5
10 県財政安定化基金借入	1,000	0	0
11 諸収入	1,579,000	115,044,023	7,285.9
合計	107,359,405,000	54,942,269,900	51.2

【歳出】

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	383,465,000	115,027,972	30.0
2 保険給付費	106,500,476,000	42,962,392,726	40.3
4 特別高額医療費共同事業拠出金	73,731,000	0	0
5 保健事業費	359,531,000	3,122,538	0.9
6 基金積立金	50,000	0	0
7 公債費	1,000	0	0
8 諸支出金	22,151,000	14,346,060	64.8
9 予備費	20,000,000	0	0
合計	107,359,405,000	43,094,889,296	40.1

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 令和4年9月30日現在所有なし
- ②基金 令和4年9月30日現在高
療養給付費等準備基金 1,172,789,443円

(2) 地方債 令和4年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 令和4年9月30日現在借入なし

3 令和3年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第1表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	503,438,938	496,528,652	6,910,286	1.4
歳出	470,558,979	462,788,822	7,770,157	1.7
差引	32,879,959	33,739,830	△859,871	△2.5

(第1表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	503,633,000	503,438,938	100.0
歳出	503,633,000	470,558,979	93.4

令和3年度の決算額は、歳入5億343万8,938円、歳出4億7,055万8,979円で、歳入歳出差引額は3,287万9,959円となった。この差引額は、剰余金として令和4年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.0%と93.4%となった。

②歳入の状況

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	469,399,000	93.2	474,273,196	△4,874,196	△1.0
2 国庫支出金	252,000	0.1	244,000	8,000	3.3
4 繰越金	33,739,830	6.7	21,929,560	11,810,270	53.9
5 諸収入	48,108	0.0	81,896	△33,788	△41.3
合計	503,438,938	100.0	496,528,652	6,910,286	1.4

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	469,399,000	469,399,000	469,399,000	0	0
2 国庫支出金	409,000	252,000	252,000	0	△157,000
4 繰越金	33,740,000	33,739,830	33,739,830	0	△170
5 諸収入	85,000	48,108	48,108	0	△36,892
合計	503,633,000	503,438,938	503,438,938	0	△194,062

令和3年度の歳入決算額は、5億343万8,938円で、前年度決算額と比較して691万286円、率にして1.4%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億6,939万9,000円、繰越金が3,373万9,830円となっている。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、繰越金が1,181万270円増額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	1,021,682	0.2	748,183	273,499	36.6
2 総務費	146,569,477	31.1	148,402,509	△1,839,032	△1.2
3 民生費	289,233,990	61.5	291,708,570	△2,474,580	△0.8
4 諸支出金	33,739,830	7.2	21,929,560	11,810,270	53.9
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	470,558,979	100.0	462,788,822	7,770,157	1.7

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,474,000	1,021,682	452,318	69.3
2 総務費	155,609,000	146,563,477	9,045,523	94.2
3 民生費	310,810,000	289,233,990	21,576,010	93.1
4 諸支出金	33,740,000	33,739,830	170	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	503,633,000	470,558,979	33,074,021	93.4

令和3年度の歳出決算額は、4億7,055万8,979円で、前年度決算額と比較して777万157円、率にして1.7%増加した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が102万1,682円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,656万3,477円、特別会計への繰出金である民生費が2億8,923万3,990円、市町への償還金である諸支出金が3,373万9,830円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、諸支出金が1,181万270円増額となったことによるものである。

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	110,356,354,885	107,278,630,618	3,077,724,267	2.9
歳出	107,576,818,660	102,546,212,603	5,030,606,057	4.9
差引	2,779,536,225	4,732,418,015	△1,952,881,790	△41.3

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	110,738,483,000	110,356,354,885	99.7
歳出	110,738,483,000	107,576,818,660	97.1

令和3年度の決算額は、歳入1,103億5,635万4,885円、歳出1,075億7,681万8,660円で、歳入歳出差引額は27億7,953万6,225円となった。この差引額は、剰余金として令和4年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ99.7%と97.1%となった。

②歳入の状況

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	18,743,540,622	17.0	18,476,323,289	267,217,333	1.4
2 国庫支出金	35,337,310,624	32.0	36,153,034,418	△815,723,794	△2.3
3 県支出金	9,086,931,294	8.3	8,127,224,143	959,709,151	11.8
4 支払基金交付金	41,929,918,000	38.0	41,060,674,017	869,243,983	2.1
5 特別高額医療費 共同事業交付金	37,270,714	0.0	26,963,062	3,911,329	11.7
6 財産収入	24,972	0.0	25,451	△479	△1.9
8 繰入金	379,698,990	0.3	690,441,570	△310,742,580	△45.0
9 繰越金	4,732,418,015	4.3	2,551,412,070	2,181,005,945	85.5
11 諸収入	109,241,654	0.1	186,136,275	△76,894,621	△41.3
合計	110,356,354,885	100.0	107,278,630,618	△3,077,724,267	△2.9

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	18,786,098,000	18,743,540,622	18,743,540,622	0	0	△42,557,378
2 国庫支出金	34,915,059,000	35,337,310,624	35,337,310,624	0	0	422,251,624
3 県支出金	9,243,633,000	9,086,931,294	9,086,931,294	0	0	△156,701,706
4 支払基金交付金	42,599,654,000	41,929,918,000	41,929,918,000	0	0	△669,736,000
5 特別高額医療費 共同事業交付金	33,591,000	37,270,714	37,270,714	0	0	3,679,714
6 財産収入	50,000	24,972	24,972	0	0	△25,028
8 繰入金	426,675,000	379,698,990	379,698,990	0	0	△46,976,010
9 繰越金	4,732,419,000	4,732,418,015	4,732,418,015	0	0	△985
10 県財政安定化 基金借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
11 諸収入	1,303,000	114,468,833	109,241,654	0	5,227,179	107,938,654
合計	110,738,483,000	110,361,582,064	110,356,354,885	0	5,227,179	△382,128,115

令和3年度の歳入決算の総額は、1,103億5,635万4,885円で、前年度決算額と比

較して 30 億 7,772 万 4,267 円、率にして 2.9%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が 187 億 4,354 万 622 円、国庫支出金が 353 億 3,731 万 624 円、県支出金が 90 億 8,693 万 1,294 円、支払基金交付金が 419 億 2,991 万 8,000 円、繰入金が 3 億 7,969 万 8,990 円、繰越金が 47 億 3,241 万 8,015 円となっている。収入未済額は諸収入において 522 万 7,179 円発生し、不納欠損額はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、県からの支出金、支払基金からの交付金及び繰越金が増額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	312,780,352	0.3	298,851,633	13,928,719	4.7
2 保険給付費	102,001,459,255	94.8	99,423,948,429	2,577,510,826	2.6
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	45,402,092	0.0	28,083,745	8,183,196	22.0
5 保健事業費	213,508,518	0.2	195,007,569	18,500,949	9.5
6 基金積立金	881,731,291	0.8	189,624,512	692,106,779	365.0
7 公債費	0	0.0	0	0	0.0
8 諸支出金	4,121,937,152	3.8	2,401,561,564	1,720,375,588	71.6
9 予備費	0	0.0	0	0	0.0
合計	107,576,818,660	100.0	102,546,212,603	5,030,606,057	4.9

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	357,784,000	312,780,352	45,003,648	87.4
2 保険給付費	105,012,389,000	102,001,459,255	3,010,929,745	97.1
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	48,780,000	45,402,092	3,377,908	93.1
5 保健事業費	293,237,000	213,508,518	79,728,482	72.8
6 基金積立金	881,756,000	881,731,291	24,709	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0.0
8 諸支出金	4,124,536,000	4,121,937,152	2,598,848	99.9
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
合計	110,738,483,000	107,576,818,660	3,161,664,340	97.1

令和3年度の歳出決算の総額は、1,075億7,681万8,660円で、前年度決算額と比較して50億3,060万6,057円、率にして4.9%の増となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億1,278万352円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が1,020億145万9,255円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が2億1,350万8,518円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が41億2,193万7,152円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、基金積立金や償還金などの諸支出金が増額となったことによるものである。